

(型式 SR-27) 商品番号 07-5571

蛍光灯27W

センサーライト

取扱説明書

保証書付

この度は、センサーライトをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■この取扱説明書の裏面には、保証書が付属していますので大切に保管してください。保証書は、お買い上げの年月日・販売店名等の記入を必ず確かめてから、お受け取りください。



照射方向を
変えられます

センサー方向を
調整できます

〔仕様〕

MADE IN CHINA

電 圧	AC 100V
消 費 電 力	約18W (待機時約1W)
使 用 電 球	コンパクト蛍光灯27W
センサー感知方式	焦電型赤外線感知方式
センサー感知範囲	360° (前方約10m/後方約2m/左右約4m) ※センサー水平時
点灯時間の調整	約1分～約15分
コ ー ド 長	約5m
質 量	約1.2kg
設 置 場 所	屋内・屋外 (防雨タイプ)

- 本品の仕様外観は改善の為予告なく変更する場合があります。
- 当製品は犯罪などを防ぐことを保証するものではありません。
当製品設置後の、いかなる被害や損害に対する責も負いかねますのでご了承ください。

OHM ELECTRIC INC.

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止する為、必ずお守り頂く事を、次の様に説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を見逃して取り扱いを誤った場合、人が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を見逃して取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性又は物的損傷の発生が想定される内容を示しています。



この表示は、してはいけない禁止内容を告げるものです。



警告

 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電事故の原因になります。
 風呂、シャワー室での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●本品は防雨仕様で、通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありませんので多量の水のかかる場所や浴室等では使用しないでください。感電・故障の原因になります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●機器の隙間に、金属等の異物を入れないでください。感電・故障の原因になります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。 ●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。又、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりすると、コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ●交流100V以外では、ご使用にならないでください。定格をこえると火災・感電の原因になります。 ●本品を燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に設置しないでください。また、本品設置付近に、干し物（布団、洗濯物など）を干す場合にはライト部分にかぶさらないようにしてください。火災の原因になります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●修理技術者以外の方は分解、修理をしないでください。又絶対に改造はしないでください。火災・感電の原因になります。
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ●設置時や電球交換、お手入れ、点検等の際には必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因になります。又、点灯直後は、ライト全体が高温になっています。ヤケドの原因になりますので冷めるまで待って作業をしてください。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグのほこり等は定期的に取り去ってください。プラグにほこり等がたまると、火災の原因になりますのでプラグを抜き、乾いた布等で掃除してください。

警告



必ず守る

- 屋外で使用する場合にはコンセントは防水型をご使用ください。
- 電源プラグは確実にコンセントへ差込んでください。確実に差込まれていないと、感電や発熱による火災の原因になります。又、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグを抜く時は、コードを持たずに必ず先端プラグ部分を持って引き抜いてください。電源プラグが破損して、感電やショート・火災等の原因になります。

注意



必ず守る

- 本品は、ライト部分を上側に、センサー部分を下側に設置します。上下逆さに設置しないでください。点灯時の熱により、故障や火災等の原因になります。
- 点灯中、点灯直後は、ライト全体が高温になっています。ヤケドの原因になりますのでさわらないでください。



電源プラグを抜く

- 長時間ご使用にならない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による漏電火災の原因になります。



火気禁止

- 本品を火の側や高温になる場所で使用しないでください。火災の原因になります。



禁止

- 本品をベンジンやシンナーで拭いたり、殺虫剤をかけないでください。引火、感電、ひび割れの恐れがあります。
- 不安定な場所に設置しないでください。落下などによるケガや火災の原因になります。設置後、しっかりと固定されているか必ず確かめてください。

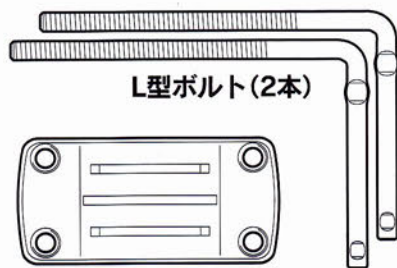
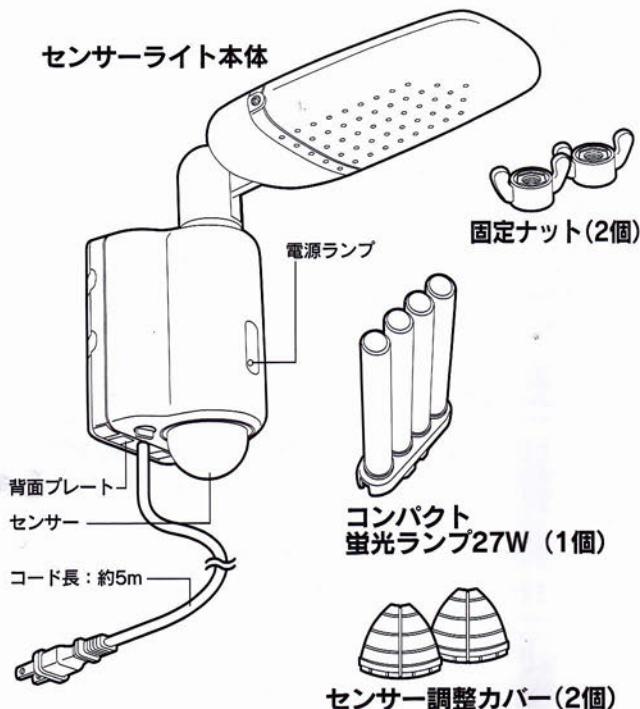
設置場所のご注意

本品はセンサーが向いている壁や地面の間を通る人や、車などの温度差で動作する為、次のような場所に設置すると誤動作する場合があります。

- 直射日光や光が反射して当たる場所、急激な温度変化が起こる場所（例えばエアコンの室外機の側など）には設置しないでください。
- 常に動くものが感知範囲内にある場合は、感知しにくくなったり、誤動作が起きたりします。（例えば風で揺れる植物やカーテンなどの側など）
- 感知範囲内に植木やガラスなどの障害物のある場所、電波の強い場所には設置しないでください。
- 強い振動を受ける場所、取付け高さが5m以上の場所には設置しないでください。

各部の名前

センサーライト本体



●セット内容

センサーライト本体	1台
ブラケット	1個
センサー調整カバー	2個
L型ボルト	2個
固定ナット	2個
木ネジ	4本
カールプラグ	4個
コンパクト蛍光ランプ27W	1個

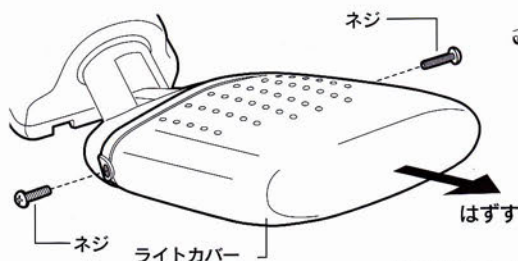
ランプの取付・交換方法



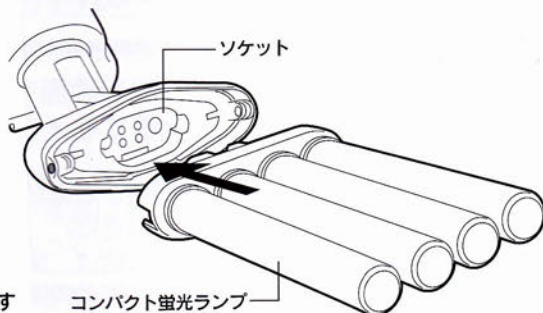
警告

ランプ交換の際には必ず電源プラグを抜いてから行ってください。感電事故の原因になります。又、点灯直後は、ライト全体が高温になっています。ヤケドの原因になりますので冷めるまで待って作業をしてください。

1 図のように、ライトカバー両わきのネジをはずします。ライトカバーを取らずし、付属のコンパクト蛍光ランプを本体のソケットに装着してください。



2 取りはずした逆の手順で、ライトカバーを元に戻します。



※交換ランプは品番FML27EX-Nをお勧めします。

設置のしかた



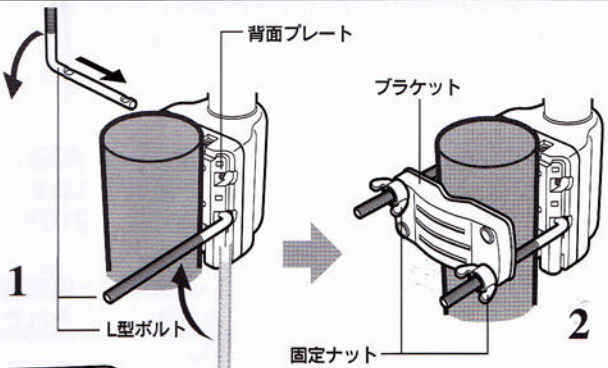
警告

作業は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。又、濡れた手で作業すると感電事故の原因となります。

● ブラケットではさんで取付ける方法

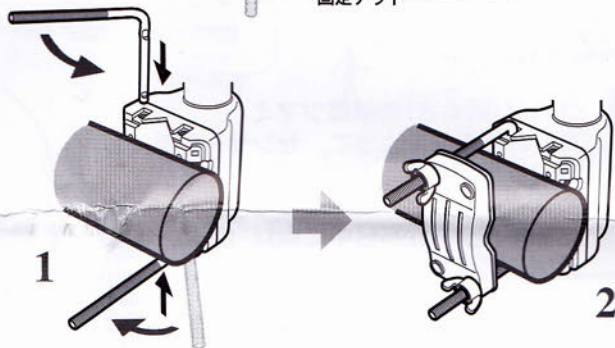
立ててあるパイプや柱に取付

- 1 2つのL型ボルトを図のように、黒矢印方向に奥まで差込み背面プレートと直角になるように回転させます。
- 2 図のようにブラケットにL型ボルトを対角に差込み、固定ナットで2ヶ所均等に締付けます。



横向きのパイプや柱に取付

- 1 2つのL型ボルトを図のように、黒矢印方向に奥まで差込み背面プレートと直角になるように回転させます。
- 2 図のようにブラケットにL型ボルトを対角に差込み、固定ナットで2ヶ所均等に締付けます。

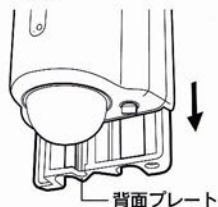


● 壁に直接固定して取付ける方法 (注意) 中空の壁には取付できません

- 1 背面プレートを止めている図の固定ネジをはずします。



- 2 背面プレートを矢印方向に少しスライドさせて抜取ります。



- 3 壁に付属の木ネジで背面プレートを取付けてください。



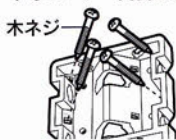
平面な壁に取付

※木ネジで固定できないモルタルやコンクリート壁の場合、ドリルで下穴を開けて付属のカールプラグを打ち込んだ後、木ネジで固定します。

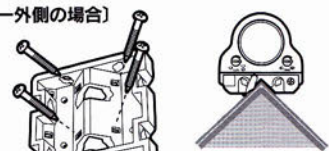
壁の90°コーナーに取付

- 図のように木ネジは壁と垂直に締付けます。

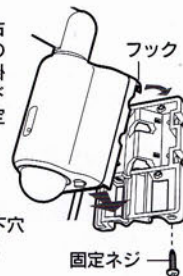
〔L字コーナー内側の場合〕



〔L字コーナー外側の場合〕



- 4 背面プレートが設置できたら右図のように、まず本体の上部のフックを背面プレートに引っ掛けるようにし、本体下をコードを踏まないように押し込み固定ネジで締付けます。



ご使用方法

準備(電源プラグを差込む前に)

- 1 「電球の取付・交換方法」を参照し、付属の蛍光ランプを確実に装着してください。
- 2 本体が設置できたらライトを照らしたい方向に、センサーを感知したい方向に向けます。
- 3 本品は出荷時に下記のように調整しています。
 - “LUX” (明るさ)の調整ツマミが時計回りいっぱい(昼の位置)
 - “TIME” (タイマー)の調整ツマミが反時計回りいっぱい(10秒の位置)

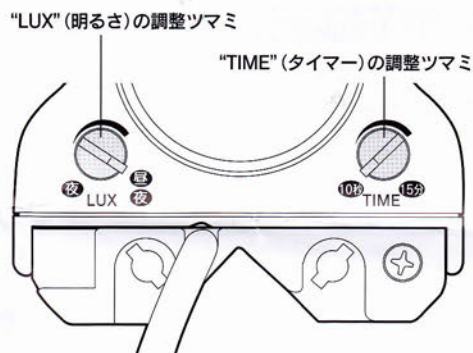
テスト

電源プラグをコンセントに差込むと点灯し、約40秒以内に消灯します。(ただしセンサー感知エリア内に人を感知すると点灯時間が延長されます) その後、センサーの作動がはじまります。センサーが人などを感知すると点灯し、約10秒後に消灯します。センサー感知エリア内を歩き、点灯することを確認してください。

※センサーが感知せず、点灯しない場合は、一度電源プラグを抜き、2分後にもう一度電源プラグをコンセントに差込んでみます。又、それでも点灯しない場合は準備の作業をもう一度始めからやり直してください。

調整方法

- 1 “LUX” (明るさ)の調整ツマミ
周りの明るさによって、センサーが感知し点灯状態になる時間帯を調整します。夜までいっぱい(夜)に回すと夜だけ点灯し、逆に回すと夕方から日中に点灯(感知)する時間帯が変わっていきます。
- 2 “TIME” (タイマー)の調整ツマミ
点灯時間の調整をします。
約10秒～約15分まで調整でき、時計回りで点灯時間が長くなります。



※出荷時には調整ツマミの位置は、上記イラストの位置に設定されています)

約1分

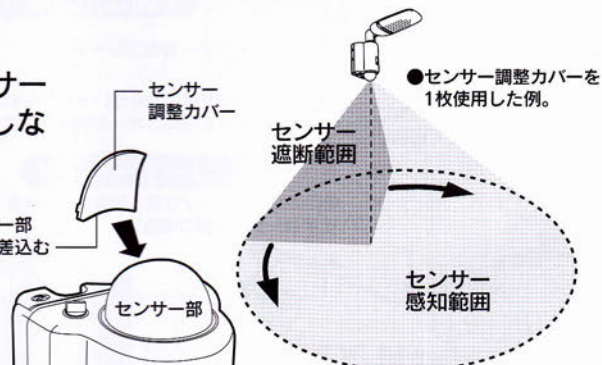
センサー感知範囲の調整：1

感知範囲を狭くしたい場合

- 感知を遮断したい方向にセンサー調整カバーを差込み、テストしながら調整してください。



この部分をセンサー部周囲の溝に確実に差込む



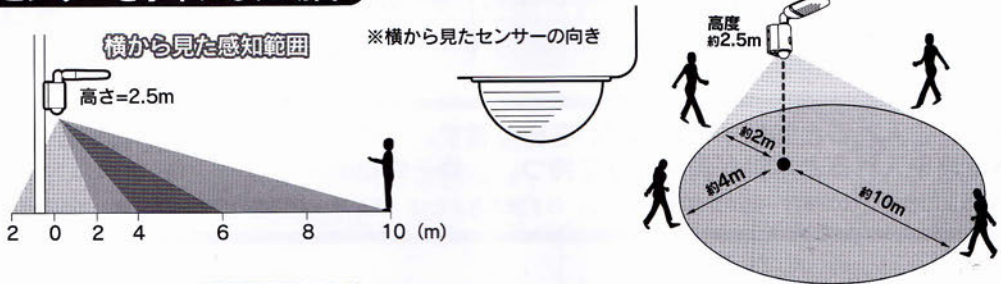
センサー感知範囲の調整：2

センサーライトの感知範囲

- 360° 範囲内で動く人や車等を感知できます。
- センサーの向きを調整して感知範囲を変えることができます。

注意：夏場、周囲の温度と動く人からでる体温との差が少ない場合やセンサーに向かって直進する場合などには、感知が鈍くなり点灯しない場合があります。

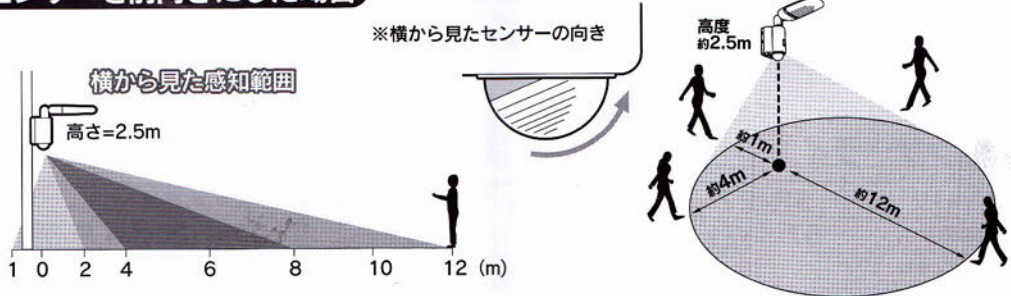
センサーを水平にした場合



センサーを後向きにした場合



センサーを前向きにした場合



センサー感知範囲の調整：3

- マークの尖ったほうがセンサー感知方向です。センサー部分を左右に回すとセンサーの感知範囲が図のように調整できます。



